

お茶の水地理

第44号 2004年

論文

地域研究と地理学

—1990年代後半における地理学者の研究の検討を軸に—

熊谷圭知 1-26

街区レベルの近傍関係を考慮した市街化予測方法に関する研究

—大都市圏縁辺部としての琵琶湖集水域を対象に—

山本佳世子 27-38

2003年に起きた諏訪湖の御神渡りについて

石黒直子 39-42

ガイドブックにみる「名所」の変遷

—1830年代の江戸から2000年の東京まで—

高槻幸枝 43-54

小倉百人一首競技かるたの普及過程

谷口直子 55-71

日本の地理教科書におけるフィリピン

田宮兵衛 73-79

博士論文要旨

サモアにおける<ローカル>の再構築

—サモア女性による「衣」の生産と消費を通して— 倉光ミナ子 81-84

資料（水俣調査報告）

水俣地域における近現代の地域共同体の衰退と再生 三澤寿子・内田忠賢 85-91

「水俣湾環境復元事業」の環境アセスメント 野口恵美 92-102

水俣市における地域開発の事例 北川一美・皆嶋円 103-111

環境を軸とした地域再生への取り組み 大友和佳子・高槻幸枝・高橋敦子 112-117

修士論文・卒業論文要旨 119-134

教室便り 135

お茶の水地理学会